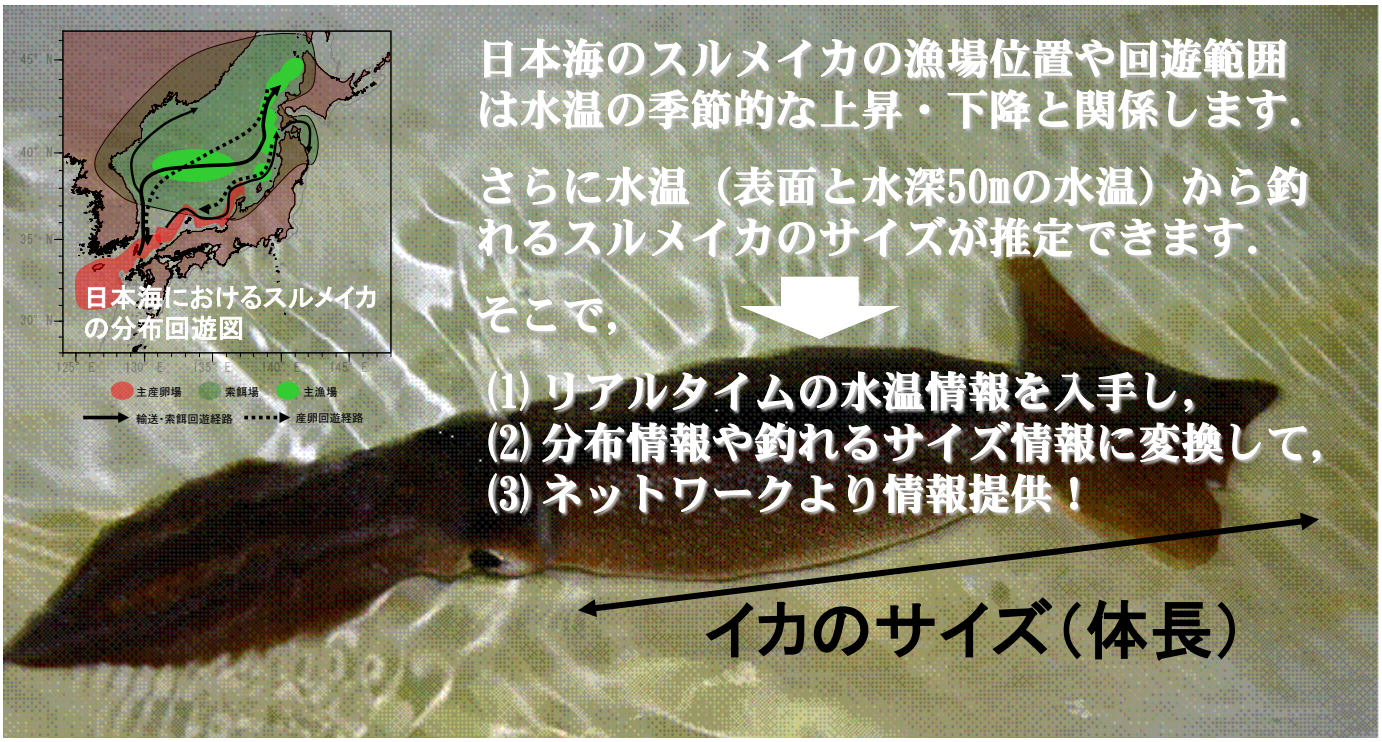
スルメイカの分布情報をリアルタイムで提供する

リアルタイム人工衛星情報の水産業への応用事例（日本海のスルメイカ）



日本海のスルメイカの漁場位置や回遊範囲は水温の季節的な上昇・下降と関係します．

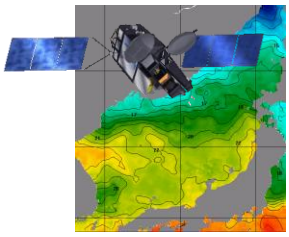
さらに水温（表面と水深50mの水温）から釣れるスルメイカのサイズが推定できます．

そこで，

(1) リアルタイムの水温情報を入手し，
(2) 分布情報や釣れるサイズ情報に変換して，
(3) ネットワークより情報提供！

イカのサイズ（体長）

表面水温は人工衛星から毎日入手．

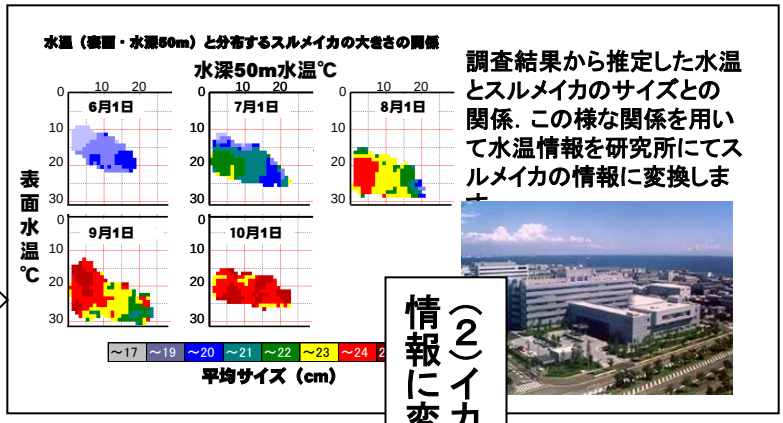


http://www.ocean.caos.tohoku.ac.jp/

水深50m水温は調査船による観測結果．

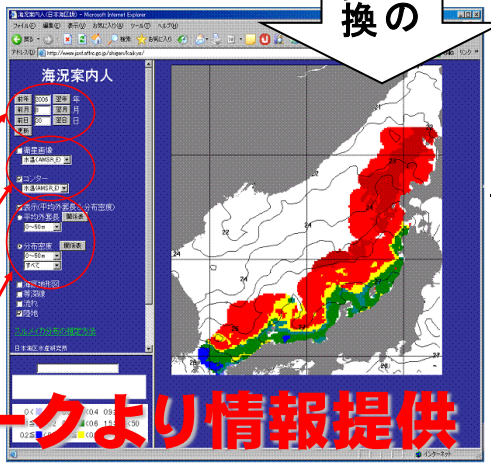
http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Physical/newindex.html

（1）水温情報



調査結果から推定した水温とスルメイカのサイズとの関係．この様な関係を用いて水温情報を研究所にてスルメイカの情報に変換します

（2）イカの情報に変換



表示したい年月日を指定

同時に表示する環境データが選択可能

表示するスルメイカ情報を選択

釣れるイカのサイズ

大(23cm)
一夜干しでおいしい

小(18cm)
刺身でおいしい

（3）ネットワークより情報提供

http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/shigen/kaikyo/ で提供中（イカが獲れる5月～10月が対象期間）

（水産総合研究センター　日本海区水産研究所　日本海漁業資源部　木所英昭）